

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022
作成日 20.07.2022

ページ 1 の 13

1 化学品及び会社情報

製品識別名

AESUB yellow

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

塗装

使用は思いとどまるよう忠告される

食料品に直接触れる製品には使用してはならない。

個人的な目的（家事）に使用してはならない。

安全データシート作成者の詳細

会社名称: Scanningspray Vertriebs GmbH
街路名: Johann-Strauss-Str. 13
住所: D-45657 Recklinghausen
電話番号: +49 (0)176 82 41 39 36
電子メール: info@aesub.com
担当者: Max Liese 電話番号: +49(0)231-5868 9271
電子メール: liese@aesub.com
インターネット: www.aesub.com

警察署・消防署への非常通話番号:

24 Hour Emergency Contact Phone Number for Chemical Emergency,
Spill, Leak, Fire, Exposure or Accident. Call Day and Night within USA
and Canada: 1-800-424-9300, outside USA and Canada:
001-703-527-3887

詳しい情報

緊急時の連絡先

Japan: 81-345209637

(CCN 994267 / WISAG FMO Cargo Service GmbH & Co. KG)

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

JIS Z 7252

危険有害性カテゴリー:

引火性液体: 引火性液体 2

吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の刺激, 2

発がん性: 発がん性 1A

生殖毒性: 生殖毒性 1A

生殖毒性: 生殖毒性 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）: 特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） 1

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 2 の 13

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） 3

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） 3

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：特定標的臓器/全身毒性（反復暴露） 1

危険有害性情報：

引火性の高い液体及び蒸気。

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

強い眼刺激。

発がんのおそれ。

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

臓器の障害。

呼吸器への刺激のおそれ。

眠気又はめまいのおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

ラベル要素

JIS Z 7253

ラベルに表示されなければならない有害成分

エタノール

シクロペンタン

プロパン-2-オール

注意喚起語：

危険

危険有害絵文字：



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H319	強い眼刺激。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H350	発がんのおそれ。
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H361	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H370	臓器の障害。
H372	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

危険の予防

P203	使用する前に全ての安全指示を入手し、読み、これに従うこと。
P260	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P280	保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
P301+P316	飲み込んだ場合：直ちに医師の診断を受けること。

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 3 の 13

P308+P316	ばく露又はばく露の懸念がある場合：直ちに医師の診断を受けること。
P318	ばく露又はばく露の懸念がある場合には、医師の診断を受けること。
P331	無理に吐かせないこと。

他の危険有害性

情報は何もない。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	JIS Z 7252	
64-17-5	エタノール	60 - < 65 %
	Flam. Liq. 2, Carc. 1A, Repr. 1A, Eye Irrit. 2B, STOT SE 3, STOT SE 3, STOT RE 1, STOT RE 2; H225 H350 H360 H320 H335 H336 H372 H373	
700-58-3	トリシクロ[3.3.1.1 ^{3,7}]デカン-2-オン	10 - < 15 %
	Aquatic Acute 3, Aquatic Chronic 3; H402 H412	
287-92-3	シクロペンタン	10 - < 15 %
	Flam. Liq. 2, Eye Irrit. 2B, STOT SE 3, STOT SE 3, Asp. Tox. 1, Aquatic Acute 3, Aquatic Chronic 3; H225 H320 H335 H336 H304 H402 H412	
67-63-0	プロパン-2-オール	10 - < 15 %
	Flam. Liq. 2, Repr. 2, Eye Irrit. 2, STOT SE 1, STOT SE 3, STOT RE 1, STOT RE 2; H225 H361 H319 H370 H335 H372 H373	

H-ステートメントの全文：セクション16を参照。

詳しい情報

組成の正確な割合（濃度）については、企業秘密のため差し控える。

4 応急措置

必要な応急手当の記述

一般情報

疑わしい場合は必ず、または、症状が現れている場合は、医師に相談すること。被災者は、危険区域外へ移すこと。当事者から、目を離さないこと。汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。

吸い込んだ後に

新鮮な空気を入れること。呼吸困難または呼吸停止のときは、人工呼吸を開始すること。直ちに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した後に

多量の水と石鹸で丁寧に洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。凍った部分をぬるま湯でとがすこと。受傷部はこすらないこと。

目に付着した後に

直ちに洗眼用シャワーまたは水で、注意深く念入りに洗い流すこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激があれば眼科医にかかること。

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 4 の 13

葛下後

飲み込んだ場合：口をすすぐこと（被災者に意識のある場合に限る）。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

麻薬作用

緊急治療および特別処置が必要な兆候

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水のジェット噴霧、BC-粉末、二酸化炭素 (CO₂)
消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

使ってはならない消火剤

棒状注水

物質または混合物特有の危険有害性

燃えやすい。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。その製品の蒸気は空気よりも重いの
で、床の上、坑、下水道や地下室の中に、高濃度で溜まり得る。
火災時に放出される物質：二酸化炭素 (CO₂)、一酸化炭素、熱分解生成物、有毒の。

消防士のための事前注意事項

火災の場合：自給式呼吸器具を着用すること。全身防護服。
爆発や火災で生じたガスを吸い込まないこと。適当な距離から注意して消火すること。

追加の指摘

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴
射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させない
こと。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

全般的な注意事項

ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。
エアロゾルあるいは、霧の生成：呼吸用保護具を着用すること。

緊急事態対応の教育訓練を受けていない要員

すべての発火源を除去すること。十分に換気をする。個人用の保護具を使用すること。
注意すること：緊急時の措置。人々を安全な場所に避難させること。

応急措置をする者

個人用の保護具を使用すること。

環境に対する予防措置

製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。火災の場合に爆発する危険性あり。
汚染された洗浄水は、残しておいて処理すること。

封じ込めおよび浄化方法と機材

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 5 の 13

保管にあたって

下水道のふたをすること。流出したものが確実に受け止められるようにすること（たれ受けまたは受領域など）。

浄化にあたって

該当する区域を換気すること。液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。適切な密閉容器に回収し、廃棄処分すること。

その他参考となる事項

静電防止機能のある（火花の生じない）工具のみを使用すること。

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7

個人用保護具: 参照箇所 節 8

廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意**安全な取扱いのための予防措置****安全取扱い注意事項**

十分に換気をすること。人身用防護装備を身に付けること。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

火災および爆発防護に関するアドバイス

炎あるいは灼熱した物質に吹き付けてはならない。発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。静電気対策を講じること。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

一般的な産業衛生に関する注意事項

汚染された衣類を脱ぐこと。休憩の前又は作業終了後には手を洗うこと。職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件**倉庫と容器の需要**

容器は、密閉した状態を保つこと。容器は、涼しく換気のよい場所で保管すること。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

共同貯蔵に関する注意事項

食料品、飲料品および飼料から遠ざけておくこと。

（以下のもの）と一緒に貯蔵してはならない: 酸化剤。自然発火性又は自己発熱性物質。

保管状態に関する追加情報

熱と直射日光から守ること。

湿気を遮断すること。

8 ばく露防止及び保護措置**管理パラメーター**

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 6 の 13

物質の許容濃度（日本産業衛生学会）

CAS番号	物質名	ppm	mg/m ³	繊維/ml	範疇
67-63-0	イソプロピルアルコール; Isopropyl alcohol	400	980		最大許容濃度

曝露防止



適切な工学的制御

十分に換気を行うこと。

保護・衛生対策

眼/顔面用の保護具

保護眼鏡/保護面を着用すること。

手の保護具

適した材料: ブチルゴム。手袋の材質の厚さ: 0,7 mm、浸透時間（最大持続時間）: 240min

化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

皮膚の保護

適切な保護衣を着用すること。

呼吸器の保護

呼吸用保護具を着用すること。フィルタータイプ: ABEK-P2

高熱の危険性

防火用衣服。靴および作業着は、帯電防止加工のものを着用すること。

環境における露出管理

環境への放出を避けること。

9 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

物質の状態:	液体の
色:	確定されていない
臭い:	特異臭
臭気閾値:	確定されていない

状態の変化

融点/融解範囲:	-97,8 °C
沸点また初留沸点及び沸騰範囲:	49,3 °C
引火点:	- 25 °C

引火性

固体/液体の:	非該当
ガス:	非該当

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 7 の 13

爆発下限:	1,1 体積%
爆発上限:	13,5 体積%
発火点:	361 °C
分解温度:	確定されていない
pH値:	確定されていない
動粘度:	確定されていない
水溶性:	確定されていない
溶媒に対する溶解性	
確定されていない	
n-オクタノール/水分配係数:	確定されていない
蒸気圧: (で 21 °C)	362,25 hPa
密度:	確定されていない
相対蒸気密度:	確定されていない
粒子特性:	非該当

その他の情報**物理化学的危険性クラスに関する情報****酸化特性**

蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

その他の安全性特性**詳しい情報**

情報は何もない。

10 安定性及び反応性**反応性**

燃えやすい

化学的安定性

本製品を通常の常温で保管すると安定である。

危険有害反応性の可能性

知られた有害反応はない。

避けるべき条件

湿気、紫外線照射/太陽光、熱源から遠ざけておくこと（例えば、高温の表面、火花、開放火炎）。

不適合物質

酸化剤

危険有害性のある分解生成物

火災時に放出される物質：二酸化炭素 (CO₂)、一酸化炭素、熱分解生成物、有毒の。

11 有害性情報

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 8 の 13

毒性情報

急性毒性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
287-92-3	シクロペンタン				
	経口の	LD50(50%致死量) > 5000 mg/kg	ラット	製造者	O E C D 423

刺激性及び腐食性

強い眼刺激。

皮膚腐食性/刺激性: 入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

感作性影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

発がんのおそれ。(エタノール)

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。(エタノール)

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。(プロパン-2-オール)

生殖細胞変異原性: 入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

臓器の障害。(プロパン-2-オール)

呼吸器への刺激のおそれ。(エタノール)

眠気又はめまいのおそれ。(エタノール)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。(エタノール; プロパン-2-オール)

吸引力呼吸器有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

その他の危険有害性に関する情報

その他参考となる事項

情報は何もない。

12 環境影響情報

毒性

その製品は、(で) ない: 生態毒性。

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 9 の 13

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h] [d]	種	源泉、出典	方法
64-17-5	エタノール					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 15400 mg/l	96 h	Piscis	製造者	
	藻類毒性	ErC50 22000 mg/l	96 h	Algae	製造者	
700-58-3	トリシクロ[3.3.1.13,7]デカン-2-オン					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 61 mg/l	96 h	ファットヘッド・ミノ ー (コイ科の魚)	製造者	
287-92-3	シクロペンタン					
	急性魚毒性	LC50(50%致死濃度) 29,3 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss (ニジマス)	製造者	
	藻類毒性	ErC50 21,6 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	製造者	
	ミジンコ毒性	EC50 51,1 mg/l	48 h	大ミジンコ	製造者	

残留性と分解性

その製品は、検査されなかった。

生物蓄積性

その製品は、検査されなかった。

n-オクタノール/水分分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
64-17-5	エタノール	-0,77
287-92-3	シクロペンタン	2,86
67-63-0	プロパン-2-オール	0,05

BCF

CAS番号	化学名	BCF	種	源泉、出典
700-58-3	トリシクロ[3.3.1.13,7]デカン-2-オン	< 6		

土壌中の移動度

その製品は、検査されなかった。

その他の有害な影響

情報は何もない。

詳しい情報

環境への放出を避けること。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 10 の 13

廃棄の勧告

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

汚染した包装

この物質とその容器は、危険廃棄物として処理しなければならない。汚染された包装は、物質そのものと同様に扱うこと。

14 輸送上の注意

UN Recommendations on the Transport of Dangerous Goods - Model Regulations

UN番号またはID番号:	UN 1263
正式の国連輸送名:	PAINT
輸送における危険有害性クラス:	3
包装等級 (P G) :	II
危険物ラベル:	3



海上輸送 (IMDG)

UN番号またはID番号:	UN 1263
正式の国連輸送名:	PAINT
輸送における危険有害性クラス:	3
包装等級 (P G) :	II
危険物ラベル:	3



海洋汚染物質:	-
特別な設備:	163, 367
量制限:	5 L
微量:	E2
EmS:	F-E, S-E

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

UN番号またはID番号:	UN 1263
正式の国連輸送名:	PAINT
輸送における危険有害性クラス:	3
包装等級 (P G) :	II
危険物ラベル:	3



特別な設備:	A3 A72 A192
量制限-乗客:	1 L

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 11 の 13

Passenger LQ:	Y341	
微量:	E2	
IATA梱包方指示-乗客:		353
IATA最大数量-乗客:		5 L
IATA梱包指示 (貨物機):		364
IATA最大数量 (貨物機):		60 L

環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

使用者のための特別な予防措置

警告: 発火性液状物質.

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

非該当

15 適用法令

消防法

危険物 第4類 第1石油類 (非水溶性)

従業制限: 若年層への従業制限に注意する。

追加の指摘

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)

CAS番号 287-92-3 あり、化審法官報公示整理番号 3-4166

CAS番号 64-17-5 あり、化審法官報公示整理番号 2-202

CAS番号 67-63-0 あり、化審法官報公示整理番号 2-207

CAS番号 700-58-3 あり、化審法官報公示整理番号 4-1894

労働安全衛生法 (安衛法)

CAS番号 287-92-3 あり 3-(3)-25

CAS番号 64-17-5 あり

CAS番号 67-63-0 あり 2-(8)-319

CAS番号 700-58-3 なし

毒物及び劇物取締法

CAS番号 287-92-3 なし

CAS番号 64-17-5 なし

CAS番号 67-63-0 なし

CAS番号 700-58-3 なし

化学物質排出移動量届出制度

CAS番号 287-92-3 なし

CAS番号 64-17-5 なし

CAS番号 67-63-0 なし

CAS番号 700-58-3 なし

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 12 の 13

注意すること:

船舶安全法
航空法
水質汚濁防止法
土壌汚染対策法
食品衛生法
大気汚染防止法

16 その他の情報

変更

このデータシートは次の項目の以前のバージョンからの変更を含んでいる： 1,3,9,10,11,14,15,16.

略称と頭字語の説明

ATE: Acute Toxicity Estimates
BCF: Bioconcentration factor
CHRIP: Chemical Risk Information Platform
DGR: Dangerous Goods Regulations
ICAO: International Civil Aviation Organization
IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods
IATA: International Air Transport Association
MARPOL: International Convention for the Prevention of Marine Pollution from Ships
IBC: Intermediate Bulk Container
JIS: Japanese Industrial Standard
UN: United Nations
GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals
CAS: Chemical Abstracts Service
NITE: National Institute of Technology and Evaluation
LC50: Lethal concentration, 50%
LD50: Lethal dose, 50%
EL50: Effect loading, 50%
EC50: Effective Concentration 50%
ErC50: Effective Concentration 50%, growth rate
TI: Technical Instructions
OECD: Organisation for Economic Co-operation and Development
DIN: Deutsches Institut für Normung e.V.; German Institute for Standardization
ISO: International Organization for Standardization
EN: European Standard
ISHL: Industrial Safety and Health Law
CSCL: Chemical Substance Control Act
PRTR: Pollutant Release and Transfer Register
PDSCCL: Poisonous and Deleterious Substances Control Law

安全データシート

JIS Z 7253

AESUB yellow

加工された日付 07.09.2022

ページ 13 の 13

TWA: time-weighted average

HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H225	引火性の高い液体及び蒸気。
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H319	強い眼刺激。
H320	眼刺激。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H336	眠気又はめまいのおそれ。
H350	発がんのおそれ。
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H361	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H370	臓器 (中枢神経系) に損傷を引き起こす。
H370	臓器の障害。
H372	長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器 (血液) の障害。
H372	飲み込むことによって長期間または反復して暴露すると, 肝臓に害を与える。
H372	長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害。
H373	長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器 (呼吸器、肝臓、脾臓) の障害のおそれ。
H373	飲み込んだ場合長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ。
H402	水生生物に有害。
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。

詳しい情報

この安全データシートの記述は、印刷時点における最良の知見に基づいている。その情報は、この安全データシートに記載されている製品の貯蔵、加工、運搬および処理の際、安全にとりあつかうための手がかりとなるはずです。その記述は、他の製品に適用することはできない。その製品が他の材料と混ざり合う、または加工されるかぎりでは、又は工程の場合、本製品安全データシートに記載された情報は新しく作られたどんな物質に対して必ずしも有効ではない。

組成の正確な割合（濃度）については、企業秘密のため差し控える。

(危険成分に関するデータは、事前供給者からの最新の安全データシートから取得されました。)